

平成 1 5 年度

# 私費外国人留学生募集要項

( 抜 粋 )

平成 1 4 年 9 月  
筑 波 大 学

# 目 次

- 1 募集人員
- 2 出願資格
- 3 日本留学試験について
- 4 日本留学試験成績利用回について
- 5 出願書類等
- 6 出願方法
- 7 選抜方法
- 8 第1次選抜合格者の発表
- 9 第2次選抜
- 10 第2次選抜の日程及び試験場等
- 11 最終合格者の発表
- 12 入学手続き
- 13 受験についての注意事項
- 14 入学試験にかかる情報開示
- 15 平成16年度入学者選抜の変更について（予告）
- 16 試験場地図及び交通機関(略)

---

入学志願票の記入について（略）

---

出願書類所定用紙（略）

本学では、私費外国人留学生のため、大学入学者選抜大学入試センター試験を免除し、次のとおり特別の選抜を実施します。

## 1 募集人員

学 群 ・ 学 類		募 集 人 員	
第一学群	人 文 学 類	若 干 名	
	社 会 学 類	若 干 名	
	自 然 学 類	若 干 名	
第二学群	比 較 文 化 学 類	若 干 名	
	日 本 語 ・ 日 本 文 化 学 類	若 干 名	
	人 間 学 類	若 干 名	
	生 物 学 類	若 干 名	
	生 物 資 源 学 類	若 干 名	
第三学群	社 会 工 学 類	若 干 名	
	国 際 総 合 学 類	若 干 名	
	情 報 学 類	若 干 名	
	工 学 シ ス テ ム 学 類	若 干 名	
	工 学 基 礎 学 類	若 干 名	
医学専門学群	医 学 類	若 干 名	
	看護・医療科学類	看護学主専攻	若 干 名
		医療科学主専攻	若 干 名
体 育 専 門 学 群		若 干 名	
芸 術 専 門 学 群		若 干 名	
図 書 館 情 報 専 門 学 群		若 干 名	

## 2 出願資格

日本国籍を有しない者で、財団法人 日本国際教育協会が実施する平成14年度「日本留学試験」で次の「3 日本留学試験について」で示した出願を希望する各学類、専門学群が指定する科目等をすべて受験し、試験の得点が次の表で示したとおりの成績を修め、かつ次の(1)から(5)のいずれかに該当する者とします。

学 群 ・ 学 類		日 本 留 学 試 験 成 績 の 出 願 基 準	
第一学群	人 文 学 類	試験の得点（合計得点）が平均点以上であること	
	社 会 学 類	試験の得点（合計得点）が平均点以上であること	
	自 然 学 類	試験の得点（合計得点）が平均点以上であること	
第二学群	比 較 文 化 学 類	試験の得点（合計得点）が平均点以上であること	
	日 本 語 ・ 日 本 文 化 学 類	試験の得点（合計得点）が平均点以上であること	
	人 間 学 類	試験の得点（合計得点）が平均点以上であること	
	生 物 学 類	試験の得点（合計得点）が平均点以上であること	
	生 物 資 源 学 類	受験した各科目の得点が平均点以上であること	
第三学群	社 会 工 学 類	試験の得点（合計得点）が平均点以上であること	
	国 際 総 合 学 類	受験した各科目の得点が平均点以上であること	
	情 報 学 類	試験の得点（合計得点）が平均点以上であること	
	工 学 シ ス テ ム 学 類	試験の得点（合計得点）が平均点以上であること	
	工 学 基 礎 学 類	試験の得点（合計得点）が平均点以上であること	
医学専門学群	医 学 類	受験した各科目の得点が平均点以上であること	
	看護・医療科学類	看護学主専攻	受験した各科目の得点が平均点以上であること
		医療科学主専攻	受験した各科目の得点が平均点以上であること
体 育 専 門 学 群		試験の得点（合計得点）が平均点以上であること	
芸 術 専 門 学 群		試験の得点（合計得点）が平均点以上であること	
図 書 館 情 報 専 門 学 群		試験の得点（合計得点）が平均点以上であること	

- (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成15年3月31日までに修了見込みの者
- (2) 外国において学校教育における中等教育の課程を修了した者で、文部科学大臣の指定した教育施設において日本国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了し、かつ平成15年3月31日までに18歳に達するもの
- (3) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成15年3月31日までに18歳に達するもの
- (4) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成15年3月31日までに18歳に達するもの
- (5) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成15年3月31日までに18歳に達するもの

### 3 日本留学試験について

本学では、これまでの「私費外国人留学生統一試験」及び「日本語能力試験」に代わり、新たに実施される「日本留学試験」を受験していることが出願資格となります。

次の表に基づき、出願を希望する学類又は専門学群の指定科目等を間違えないようにして、「日本留学試験」を受験してください。（指定された科目を1科目でも受験しなかった場合は、出願できません。）

学 群 ・ 学 類		文系・理系の別	日 本 語	総 合 科 目	数 学	理 科	出 題 言 語
第一学群	人 文 学 類	文科系			1		日本語
	社 会 学 類	文科系			1		日本語
	自 然 学 類	理科系			2	物理・化学	日本語
第二学群	比 較 文 化 学 類	文科系			1		日本語
	日 本 語 ・ 日 本 文 化 学 類	文科系			1		日本語
	人 間 学 類	文科系			1		日本語
	生 物 学 類	理科系			2	生物必修	日本語
	生 物 資 源 学 類	文科系			1		日本語
理科系				1	自由選択	日本語	
第三学群	社 会 工 学 類	文科系			2		日本語・英語
		理科系			2		日本語・英語
	国 際 総 合 学 類	文科系			1		日本語
		理科系			2	物理・化学	日本語
	情 報 学 類	理科系			2	物理必修	日本語
	工 学 シ ス テ ム 学 類	理科系			2	物理必修	日本語・英語
工 学 基 礎 学 類	理科系			2	物理必修	日本語・英語	
医学専門学群	医 学 類	理科系			2	物理・化学	日本語
	看護・医療科学類	看護学主専攻	理科系		2	自由選択	日本語
		医療科学主専攻	理科系		2	自由選択	日本語
体 育 専 門 学 群		文科系			1		日本語
		理科系			1	自由選択	日本語
芸 術 専 門 学 群		文科系			1		日本語
		理科系			1	自由選択	日本語
図 書 館 情 報 専 門 学 群		文科系			1		日本語
		理科系			1	自由選択	日本語

(注)

1. 第二学群生物資源学類、第三学群社会工学類、国際総合学類、体育専門学群、芸術専門学群及び図書館情報専門学群においては、文(科)系、理(科)系の別は特に指定しませんので、出願を希望する場合は、文系・理系いずれかの指定科目を受験してください。
2. 数学の欄の1又は2は、コース1あるいはコース2を示します。
3. 理科の欄で2科目掲載されている科目は必修、1科目掲載は、1科目は必修で、残る1科目は選択を示し、「自由選択」と掲載されているのは、2科目とも自由選択を示します。
4. 出題言語の欄で「日本語・英語」とあるのは、どちらの言語の問題を解答しても良いことを示します。

#### 4 日本留学試験成績利用回について

本学に出願を希望している者に対し利用される平成14年度実施の「日本留学試験」の成績利用回については、本学すべての学類・専門学群において6月実施分及び11月実施分、いずれかの試験の成績を利用することができます。

#### 5 出願書類等

書 類 等	提出該当者	摘 要
1 入学志願票	全 員	本学所定用紙に所要事項を記入してください。
2 修了(見込)証明書・成績証明書等	全 員	<p>次の区分により提出してください。</p> <p>(1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成15年3月31日までに修了見込みの者は学校教育における12年の課程の修了(見込)証明書と高等学校(中等教育)3年間の成績証明書(各学年毎の成績が分かるもの)を提出してください。</p> <p>(2) 外国において学校教育における中等教育の課程を修了した者で、文部科学大臣の指定した教育施設において日本国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了し、かつ平成15年3月31日までに18歳に達するものは、次の(ア)と(イ)の書類を併せて提出してください。</p> <p>(ア) 学校教育における中等教育の課程の修了証明書と成績証明書 (イ) 文部科学大臣の指定した教育施設の修了(見込)証明書と成績証明書</p> <p>上記(1)及び(2)に該当する修了(見込)証明書と成績証明書には、日本語又は英語による翻訳文(当該高等学校又は公の機関が証明したものを)を併せて提出してください。</p> <p>(3) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成15年3月31日までに18歳に達するものは、次の(ア)と(イ)の書類を併せて提出してください。</p> <p>(ア) 国際バカロレア事務局(International Baccalaureate Office)が授与する国際バカロレア資格証書(International Baccalaureate Diploma)の写とIB最終試験の成績評価証明書 (イ) 最終学校の修了(見込)証明書と成績証明書</p> <p>(4) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成15年3月31日までに18歳に達するものは、次の(ア)と(イ)の書類を併せて提出してください。</p> <p>(ア) 一般的大学入学資格証明書(Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife)とこれに記載されている成績の写 (イ) 最終学校の修了(見込)証明書と成績証明書</p> <p>(5) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成15年3月31日までに18歳に達するものは、次の(ア)と(イ)の書類を併せて提出してください。</p> <p>(ア) バカロレア資格証書(Diplome du Baccalaureat de l'Enseignement du Second Degre)の写とバカロレア資格試験成績証明書(Relevé des Notes) (イ) 最終学校の修了(見込)証明書と成績証明書</p>
3 検 定 料 (17,000円)	全 員	<p>(1) 17,000円の「郵便普通為替証書」(郵便局で作成する。)を同封してください。なお、同証書には、表・裏面とも一切記入しないでください。</p> <p>(2) 第1次選抜で不合格者となった場合は、本人の申し出により、13,000円を返還します。このことについては、第1次選抜発表の際、該当者に通知しますので、所定の方法により平成15年3月20日までに申し出てください。</p> <p>(3) 上記(2)に該当する者以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しません。</p>
4 受験票・写真票	全 員	<p>本学所定用紙に所要事項を記入して、同一の写真をはり付けてください。(縦4cm×横3cm、上半身・無帽・正面向きのものを出願する前3ヶ月以内に撮影したもの。受験時に眼鏡を着用する者は、眼鏡をかけて撮影してください。なお、白黒、カラーは問いません。)</p>

書 類 等	提出該当者	摘 要
5 検定料納付書 (原符)・領収 証書はがき	全 員	本学所定用紙の所定欄及び郵便番号・住所・氏名を記入し、50円切手をはり付けてください。(日本国内の住所を記入してください。)
6 体育実技検査票	体育専門学群 志願者のみ	本学所定用紙に所要事項を記入して、「受験票・写真票」の写真と同一のものをはり付けてください。
7 運動特技に関する調査票	体育専門学群 志願者のみ	本学所定用紙に所要事項の全項目を必ず記入してください。(体育実技検査票の裏面)なお、該当事項がない場合は、「なし」と記入してください。
8 健康状態に関する調査票	体育専門学群 志願者のみ	所要事項の全項目を必ず記入してください。(写真票の裏面)
9 平成14年度日本 留学試験成績通 知書(写)	全 員	財団法人 日本国際教育協会が発行する成績通知書の写を提出してください。
10 成績評価証明書	全 員	TOEFLの成績評価証明書を提出してください。ただし、生物学類及び生物資源学類は、TOEFL又はTOEICの成績評価証明書を提出してください。
11 健 康 診 断 書	全 員	本学所定用紙(又はこれに準ずるもの)を使用し、出願する前3ヶ月以内に医師が作成し、厳封したものを提出してください。
12 志 願 者 あ て 名 シール	全 員	本学所定用紙に所要事項を記入してください。(日本国内の住所を記入してください。)
13 「通知書在中」 封筒	全 員	第1次選抜の可否通知書及び合格者に筑波大学受験票を送付しますので、本学所定の封筒に志願者の郵便番号・住所・氏名を記入し、350円切手をはり付けてください。(日本国内の住所を記入してください。)
14 受 験 許 可 書	該当者のみ	現に大学等に在学している者は、当該学長等の受験許可書を提出してください。
15 外国人登録原票 記載事項証明書 等	全 員	現に日本国に在住し、かつ外国人登録済の外国人は、市区町村長の交付する外国人登録原票記載事項証明書(在留資格が明示されたもの)を提出してください。 外国から直接出願する場合は、戸籍抄本又は市民籍等出身国の公的機関が発行する居所証明書を提出してください。

#### 国家試験等の統一試験について

上表以外の統一試験のある国については、その成績評価証明書及び統一試験制度についての公式資料の写しを提出してください。

なお、これらの成績評価証明書等を提出できない場合であっても、選考上不利になることはありません。

## 6 出 願 方 法

### (1) 出願期間

平成15年1月16日(木)から1月22日(水)まで(必着・郵送に限る。)

送 付 先 〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1-1  
筑波大学学務部入試課

なお、出願期間を過ぎた場合は、いかなる理由があっても受理しませんので、郵送の際は、郵送期間を十分考慮のうえ送付してください。

### (2) 出願書類を一括取りそろえ、次の(4)「出願にあたっての注意事項」をよく読んで、本学所定の出願用封筒により必ず書留・速達で郵送してください。

### (3) 出願書類を受理したときは、1月27日(月)頃「検定料領収証書はがき」を発送します。

なお、発送予定日から7日経っても同はがきが到着しないときは、次の(5)「問い合わせ先」に照会してください。

### (4) 出願にあたっての注意事項

ア 提出書類が不足していたり、記載事項に不備のある場合には、出願書類を受理できないので、事前によく確認してください。

イ 出願後の志願学群・学類、事前選択(小論文・実技検査種目・科目)の変更は認めません。

ウ 出願書類は、返還しません。

エ 身体に障害のある者で受験上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、出願前に次の(5)「問い合わせ先」まで照会してください。

オ その他、受験についての詳細は、11ページの「受験についての注意事項」を参照してください。

(5) 問い合わせ先

学生募集に関し、不明な点がある場合には、次に照会してください。

〒305-8577	茨城県つくば市天王台1丁目1-1 筑波大学学務部入試課入試第一係 電話 0298(53)6007 取扱日及び時間：月～金曜日の9:00～17:00 〔但し、休日（国民の祝日、振替休日、12月29日～1月3日）を除く。〕
-----------	---

## 7 選抜方法

選抜は、第1次と第2次に分けて行い、第1次選抜合格者に対して第2次選抜を実施します。

(1) 第1次選抜（書類選考）

平成14年度「日本留学試験」の成績と提出書類等を総合的に判定して、第1次選抜合格者を決定します。

(2) 第2次選抜

小論文又は実技検査（体育専門学群、芸術専門学群）及び面接を課し、第1次選抜の結果を含めて総合的に判定して最終合格者を決定します。

## 8 第1次選抜合格者の発表

平成15年2月12日（水）に本人あて速達郵便で可否通知書等を発送します。

なお、合格者には、「合格通知書」とともに「筑波大学受験票」を送付します。

## 9 第2次選抜

(1) 学群・学類別選考内容

### ア 第一学群 人文学類

科目	試験時間	内容
小論文	90分	日本語で論述します。 哲学、史学、考古学・民俗学、言語学などの人文系諸分野の勉学に必要な基礎的能力を問います。論理的思考能力、日本語能力についても評価します。
面接		個別面接（志望専攻分野に対する意欲と適応性を見ます。志望専攻分野に関する基礎的能力と日本語能力も評価の対象とします。）

### イ 第一学群 社会学類

科目	試験時間	内容
小論文	90分	日本語で論述します。 論理的思考力・理解力を見ます。
面接		個別面接（総合的に評価します。）

### ウ 第一学群 自然科学類

科目	試験時間	内容
小論文	90分	日本語で論述します。 数学・物理学・化学・地球科学に関する4つの論述課題の中から2課題を選択させ、基礎学力を評価します。
面接		個別面接（適応力や思考の柔軟性、外国での活動歴などを見ます。）

### エ 第二学群 比較文化学類

科目	試験時間	内容
小論文	90分	日本語で論述します。 日本語の小論文を課し、それに関連する理解力と思考力を総合的に評価します。
面接		個別面接（専攻に関する意欲・関心及び理解力を評価します。）

**オ 第二学群 日本語・日本文化学類**

科目	試験時間	内 容
小論文	90分	日本語で論述します。 言葉や文化に関する小論文を課し、その理解力・洞察力及び日本語能力を評価します。
面接		個別面接（日本語や日本文化を学ぼうと志した動機を問い、明確な問題意識を持っているかを見ます。）

**カ 第二学群 人間学類**

科目	試験時間	内 容
小論文	90分	日本語で論述します。 人間学類の専門に関連のある日本語の文章を読ませ、その文章の読解力、論述における論旨の明確性、論理性等を評価します。
面接		個別面接（志望動機の妥当性、関心の明確性、入学後の学習計画の適切性等について評価します。）

**キ 第二学群 生物学類**

科目	試験時間	内 容
小論文	90分	生物学類のカリキュラムを履修するために必要な基礎学力をみる問題を日本語又は英語で論述します。 （生物学についての学力及び英語の学力を問います。）
面接		個別面接（生物学に対する意欲及び学力を問います。併せて基礎的日本語の能力を問います。）

**ク 第二学群 生物資源学類**

科目	試験時間	内 容
小論文	90分	日本語で論述します。
面接		個別面接（基礎学力及び適性を評価します。）
日本留学試験等を含めて、総合的に評価しますが、日本語の能力を重視します。		

**ケ 第三学群 社会工学類**

科目	試験時間	内 容
小論文	90分	日本語及び英語で書かれた小論文を読ませ、それに日本語で解答させます。
面接		個別面接（小論文の解答も踏まえながら、志望の動機、日本語能力、基礎学力を総合的に評価します。）

**コ 第三学群 国際総合学類**

科目	試験時間	内 容
小論文	120分	日本語又は英語で論述します（事前選択）。 論理的思考力、分析力、文章表現力等を問います。
面接		個別面接（日本語及び英語による国際問題に関連した口頭試問を含みます。）

**サ 第三学群 情報学類**

科目	試験時間	内 容
小論文	90分	与えられた課題について日本語により論述します。
面接		個別面接（論理的思考能力、学習適格性、日本語能力等を評価します。数学の口頭試問を含みます。）



### シ 第三学群 工学システム学類

科目	試験時間	内 容
小論文	90分	日本語又は英語で論述します（事前選択）。 工学分野に必要な論理的思考力，問題解決能力及び表現力を評価します。
面接		個別面接（希望分野と本学類の教育内容との適合を確認し，学類カリキュラム履修に必要な基礎学力[日本語の理解力・表現力も含む。]を評価します。）
学類のカリキュラム履修に必要な基礎学力（日本語の理解力を含む。）を重視します。		

### ス 第三学群 工学基礎学類

科目	試験時間	内 容
小論文	90分	日本語及び英語で論述します。専攻に関わる能力及び適性並びに日本語能力を判定するため，自然科学分野におけるいくつかの文章を提示し，それに関する問題について論述させます。
面接		個別面接（論理的思考力及び表現力を見ます。身近な自然現象などについての解説や議論をさせることを含みます。）

### セ 医学専門学群 医学類

科目	試験時間	内 容
小論文	120分	物理・化学・数学・英語（読解力・作文力）の総合的学力を測定するとともに論理的思考力，表現力を日本語又は英語の作文により評価します。
面接		個別面接（受験の動機，就学の継続力，適性，感性，適応力及び日本語での学習能力について評価します。）
日本留学試験及び小論文による学力検査の総合点と面接で評価します。		

### ソ 医学専門学群 看護・医療科学類(看護学主専攻，医療科学主専攻)

科目	試験時間	内 容
小論文	120分	日本語及び英語の小論文を課して，日本語で解答させ，理解力，論理的思考力，文章表現力を総合的に評価します。
面接		個別面接（積極性，協調性，日本語能力，論理性及び理解力を評価します。）

タ 体育専門学群

(ア) 専門実技検査

下表の実技検査種目a~rの中から、受験生の得意とする種目を1つ事前に選択し受験してください。

(イ) 選択実技検査

下表の「A運動群」、「B運動群」、「C運動群」、「D運動群」、「E運動群」の5つの運動群から2つの運動群を選び、それぞれの運動群の中から1つの実技検査種目を事前に選択し受験してください。

ただし、(ア)の専門実技検査で選択した検査種目が属する運動群から検査種目を選ぶことはできません。

運動群	実技検査種目	実 技 検 査 内 容	
		専 門 実 技	選 択 実 技
A 運動群	a 体 操	手具を使わない一連の体操(約3分)、自由に選択した手具を使った一連の体操(約3分)	手具を使う、あるいは使わない一連の体操(約3分)
	b 器械運動	男子:マット、とび箱、鉄棒の自由および指定演技(技)、その他指定技 女子:マット、とび箱、平均台の自由および指定演技(技)、その他指定技	男子:マット、とび箱、鉄棒の指定演技(技) 女子:マット、とび箱、平均台の指定演技(技)
	c ダンス	基本技能: 基礎的ダンス表現の再現 応用技能: 即興的表現、創作表現(5分)	専門実技に準じる
B 運動群	d陸上競技	指定種目から1つ選択: 100m, 400m, 1500m, 55mH(女子:50mH), 走幅跳, 三段跳, 走高跳, 棒高跳(男子), 砲丸投, 円盤投, 槍投, ハンマー投	指定種目から1つ選択: 100m, 400m, 1500m, 走幅跳, 砲丸投
	e 水 泳	競泳を専門とするもの - 指定種目: 50m速泳 選択種目(1つ): 100m, 200m(自由形, 平泳ぎ, 背泳ぎ, バタフライ), 200m個人メドレー, 400m自由形, 400m個人メドレー 水球を専門とするもの - 50m速泳および水球ゲーム(4対4)	100m個人メドレー
	f 野外運動	小集団課題解決法, キャンプ技術, 500m負荷走(男25kg, 女20kg)	専門実技に準じる
C 運動群	g ハンドボール	ボディーコントロール, ボールコントロール, 対人パス, シュート, 1対1および3対3の攻防, ミニゲーム ゴールキーパーに関しては, キーピングとパスアウト, 体力テスト(50m走, ボール投げ, 立5段跳)	専門実技に準じる
	h バレーボール	個人技能(パス, レシーブ, スパイク, サーブ), 集団技能(3人レシーブ, コンビネーションスパイク), 体力測定(垂直跳, スパイクジャンプ, 3回跳)	個人技能(パス, レシーブ, スパイク, サーブ), 体力測定(垂直跳, スパイクジャンプ, 3回跳)
	i バasketボール	シュート, ドリブル, パス・レセプション, オフェンスおよびディフェンススキル, ゲーム等	専門実技に準じる
	j サッカー	50m走, 10段跳, ボールコントロール, ドリブル, パス, シュート, ゲーム等 GKはゴールキーピングと配球	専門実技に準じる
	k ラグビー	個人技能(ハンドリング&サポート, コンタクトスキル), コニット技能(フォワードおよびバックス), 基礎運動能力(50m走, 背筋力, 立5段跳等)	個人技能(ハンドリング, キック, コンタクトスキル)
D 運動群	l 野 球	硬式野球, 軟式野球, ソフトボールの中から1種目選択 50m走, 遠投, キャッチボール, トスバッティング, ノック(内野手, 外野手), 二塁送球(捕手), ピッチング(投手)	遠投, キャッチボール, トスバッティング
	m テニス	テニス, ソフトテニスの中から1種目選択 基本技能(ストローク, サービス, ボレー, スマッシュ等), 実戦技能(ラリー)	基本技能(ストローク, サービス, ボレー, スマッシュ等)
	n 卓 球	ストローク, フットワーク, 実戦技能等	専門実技に準じる
	o バドミントン	基本技能(トラベリング, ストローク), 実戦技能(シングルルス)	基本技能(ラケット操作, 基本ストロークと移動), ルールに準拠したゲーム
E 運動群	p 柔 道	基本動作(受け身), 対人的技能(約束練習), 試合的技能(乱取り)	基本動作(受け身), 対人的技能(技の理解と修得)
	q 剣 道	基本技能(素振り, 切り返し等), 対人技能(かかり稽古, 試合稽古)	基本技能(素振り, 切り返し等), 対人技能(打ち込み稽古, 試合稽古)
	r 弓 道	基本技能(巻藁前行射), 応用技能(的前行射)	専門実技に準じる

(注) 実技検査の内容は、天候、受験者数等によって変更される場合があります。

実技検査は、次のことを評価します。

専門実技検査: 当該種目に関する基礎及び応用技能について評価します。

選択実技検査: 主に入学後の実技履修上の観点から、それぞれの基礎技能を中心に評価します。

面接

個別面接 (健康・体育・スポーツの専門家となるための資質(意欲, 自己の体育・スポーツに対する考え方, 論理的思考, リーダーシップ能力など)及びそれらの応答の際の日本語能力を見ます。)

## チ 芸術専門学群

実技検査	<p>下表の実技検査科目の中から1科目を事前に選択し受験してください。ただし、「構成」を受験する場合は、の平面構成または立体造形についても、いずれか1つを事前に選択してください。</p>				
	科目記号	実技検査科目	実技検査科目の内容	対応する専攻分野	
				主専攻分野	コース/専門領域
	A	芸術理論	鑑賞（論述，口述）	芸術学	芸術学
	B	美術 1	木炭素描（石膏像等）	美術	洋画
	C	美術 2	鉛筆写生（静物）		日本画
	D	美術 3	塑造（頭像）		彫塑
	E	美術 4	臨書（漢字・仮名），創作（漢字・仮名）		書
F	構成	造形基礎 平面構成，立体造形から1	構成	構成，総合造形，クラフト， ビジュアルデザイン	
G	デザイン	鉛筆デッサン，論述	デザイン	情報，プロダクツ，環境， 建築	
<p>実技検査は，次のことを評価します。</p> <p>芸術学：芸術に関する知識や感性，理論的な思考力を評価します。</p> <p>美術：基礎を踏まえた造形的表現力，感性や創造性の豊かさ，芸術に関する知識を評価します。</p> <p>構成，デザイン：基礎を踏まえたデッサン力，構成力，課題に対する思考力，着想の豊かさ，企画力，総合的な表現力を評価します。</p>					
面接	個別面接（芸術に対する関心度や意欲，将来性，社会性について評価します。実技検査の自己評価も問います。）				

## ツ 図書館情報専門学群

科目	試験時間	内容
小論文	90分	日本語で論述します。 論理的思考力，理解力及び日本語能力を評価します。
面接	—	個別面接（図書館情報学に対する意欲，関心等を総合的に評価します。）

### (2) 健康診断

- ア 提出された健康診断書を審査し，本学において必要と認められた者については，精密検診又は再検診を行います。
  - イ 体育専門学群では，実技検査を安全に実施するために，また，入学後の授業で実技実習が必修として課せられるために，必要と認められた者には，精密検診を行います。
- なお，精密検診の結果により，本学が必要と認められた者には再検診を行います。

10 第2次選抜の日程及び試験場等

日		試験実施日								試験場
		2月25日(火)				2月26日(水)				
		10:00	11:00	12:00	13:00	17:00	18:00	10:00	17:00	
学群・学類			11:30							
第一学群	人文学類	小論文		休憩	面接		精密検診等(該当者のみ)			第一学群棟
	社会学類	小論文			面接					
	自然科学類	小論文			面接					
第二学群	比較文化学類	小論文		休憩	面接					
	日本語・日本文化学類	小論文			面接					
	人間学類	小論文			面接					
	生物学類	小論文			面接					
第三学群	生物学資源学類	小論文		面接						
	社会工学類	小論文		休憩	面接					
	国際総合学類	小論文			面接					
	情報学類	小論文			面接					
工学システム学類	小論文		面接							
医学専門学群	工学基礎学類	小論文		面接						
	医学類	小論文		休憩	面接					
	看護・医療科学類	看護学主専攻	小論文		面接					
	医療科学主専攻	小論文	面接							
体育専門学群	面接	精密検診(該当者のみ)	休憩	実技検査(専門実技検査)		再検診(該当者のみ)	実技検査(選択実技検査)		体育・芸術専門学群棟及び本学体育施設	
芸術専門学群	実技検査		休憩	実技検査		精密検診等(該当者のみ)	面接		体育・芸術専門学群棟	
図書館情報専門学群	小論文		休憩	面接		精密検診等			図書館情報専門学群棟	

- (備考) 1 出願の状況により試験時間及び日程を変更することがあります。  
 2 精密検診又は再検診の該当者は、各試験場において本人あて通知します。  
 3 受験者は、試験日程に従って指定された各試験等を全て受験しなければなりません。  
 指定された試験等を1つでも受験しなかった場合は欠席扱いとなり、選考の対象外となります。

11 最終合格者の発表

平成15年3月7日(金)午前10時

本学本部棟南駐車場に設置した掲示板に合格者の受験番号を掲示します。また、本人あて速達郵便で「合否通知書」を発送します。

なお、合格者には、併せて「入学手続き書類」等を送付します。電話による合否の問い合わせには一切応じません。

12 入学手続き

(1) 手続日 平成15年3月26日(水)〔持参に限る。〕

(2) 入学手続に必要なもの

ア 筑波大学受験票

イ 日本留学試験受験票

ウ 入学料 282,000円

エ 授業料 前期分(4月~9月)260,400円〔年額 520,800円〕【改定予定額】

〔後期分(10月~3月)260,400円は10月中に納入することになります。〕

〔なお、在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時より新授業料が適用されます。〕

## 13 受験についての注意事項

### (1) 第1次選抜合格者は、次の指示に従い第2次選抜を受験してください。

- (ア) 受験者は、日程に従って指定された各試験等を全て受験しなければなりません。  
指定された試験等を1つでも受験しなかった場合は欠席扱いとなり、選考の対象外となります。
- (イ) 健康診断は、本学保健管理センターで行います。  
なお、精密検診又は再検診の該当者は、試験当日、試験場において本人あて通知します。
- (ウ) 受験者は、試験当日午前9時30分までに各試験場に来てください。
- (エ) 筑波大学受験票及び財団法人日本国際教育協会が発行する「日本留学試験」受験票を必ず持参してください。なお、受験票を忘れた場合は、試験当日の試験開始前に当該試験場本部に申し出てください。
- (オ) 試験日程及び試験場については10ページを参照し、試験場地図及び交通機関については14～16ページを参照してください。
- (カ) 試験（面接、実技検査を含む）開始後30分を超えた遅刻者は、受験を認めません。  
なお、交通事故その他やむを得ない事情で遅刻した場合は、当該試験場本部に申し出て指示を受けてください。
- (キ) 受験者は、試験開始15分前までに各自指定された試験室の所定の席に着席してください。
- (ク) 小論文においては、下書きとあらゆる種類の計算機の使用を禁じます。  
また、英文字や地図等が表示された衣服の着用及び故事・格言等が印刷された鉛筆等の使用を禁じます。
- (ケ) 机の上には、「受験票（机上の受験番号の手前に置く）」、「鉛筆（シャープペンシルも可）」、「消ゴム」、「鉛筆削り」、「時計（計時機能だけのもの）」、「眼鏡」以外のものは置かないでください。  
ただし、実技検査受験の際は、監督員の指示に従ってください。  
また、携帯電話・PHS等は試験室（実技検査会場を含む。）に入る前に電源を切って、かばん等に入れておいてください。
- (コ) 解答用紙には、学群・学類（看護・医療科学類は主専攻を含む。）、氏名及び本学の受験番号を所定欄に記入してください。その他指示があった場合は、これに従ってください。
- (サ) 事前選択の科目等については、届け出た科目等以外の受験を認めません。
- (シ) 試験妨害行為又は不正行為があったときは、直ちに退室を命じ、その後の受験は認めません。
- (ス) 試験時間中に用便等へたつときは、挙手をして監督員に申し出て、その指示に従ってください。
- (セ) 小論文において試験時間内に解答し終えたときは、監督員の点検、指示を受けた後、退室することができます。  
ただし、試験開始後60分以内は、退室を認めません。
- (ソ) 試験時間が終わったら、直ちに筆記具を置き、監督員の指示に従ってください。
- (タ) その他、監督員から指示があったときは、これに従ってください。
- (チ) 受験者に対する指示は、当該試験場において掲示により行いますので、試験当日は試験場に設置された掲示板を必ず確認してください。  
なお、試験実施に係る掲示（試験室割振り、試験室及び試験場本部の位置等）は、試験日前日の午後3時頃から行いますので、あらかじめ確認しておくことが望ましいでしょう。
- (ツ) 受験者の付添者は、試験場内に立ち入ることを認めません。
- (テ) 受験のための宿泊施設の斡旋は行いません。
- (ト) 本学では合否の問い合わせ、電報依頼等の取り扱いには応じません。

試験場付近及び最寄りの駅周辺等で合否電報等を勧誘する者があっても、本学では一切関知しません。本学関係者を装って勧誘する例もありますが、本学とは無関係であり、本学は一切責任を負わないので十分注意してください。

- (ナ) 試験当日は、交通渋滞を引き起こすため、自家用車での学内への乗り入れはご遠慮ください。
- (ニ) 体育専門学群受験者は、実技検査のための準備運動をしておいてください。

### (2) 試験当日に持参するもの

#### 【各学群・学類受験者共通】

- ア 筑波大学受験票
- イ 財団法人 日本国際教育協会が発行する「日本留学試験」受験票
- ウ 筆記具（鉛筆〔芸術専門学群以外はシャープペンシルも可〕、消ゴム等）
- エ 昼食
- オ 時計（計時機能だけのもの）

上記のほかに、体育専門学群及び芸術専門学群受験者は、次のものを持参してください。

#### 【体育専門学群受験者】

- ア 受験する実技検査種目に適する服装・用具（例えば、水泳着、スパイクシューズ、グローブ等）
- イ 体育館シューズ及びグラウンドシューズ（必ず持参）

ウ ゼッケン（縦15cm×横20cmの白布に本学の受験番号を記入したもの）を作成し、受験するときの服装の背部に縫い付けておいてください。ただし、水泳を受験する場合は、ゼッケン（縦5cm×横10cm）を左腰前面に縫い付けるとともに、受験番号を明記した水泳帽を必ず着用してください。

なお、柔道着、剣道着には、ゼッケンを付ける必要はありません。

エ 更衣室の使用については、当日指示しますが、更衣後の衣服等を入れる袋やバッグ等を用意してください。

#### 【芸術専門学群受験者】

科目記号	実技検査科目	実技検査科目の内容	携 行 品
A	芸術理論	鑑賞（論述、口述）	鉛筆、消ゴム
B	美術 1	木炭素描（石膏像等）	木炭（鉛筆併用可）、食パン、クリップ、新聞紙2～3枚（下敷き用）
C	美術 2	鉛筆写生（静物）	鉛筆、消ゴム、カッターナイフ
D	美術 3	塑造（頭像）	塑造制作用具一式
E	美術 4	臨書（漢字・仮名）、創作（漢字・仮名）	毛筆（大・小）、墨、鉛筆、赤サインペン
F	構成	造形基礎 平面構成、立体造形から 1	烏口、コンパス、烏口コンパス、直定規、三角定規、不透明水彩絵具（ポスターカラー、アクリルガッシュなど）、絵具皿、筆、筆洗、雑巾、鉛筆（硬・軟）、消ゴム、カッターナイフ、はさみ
G	デザイン	鉛筆デッサン、論述	鉛筆（硬・軟）、消ゴム、カッターナイフ、直定規

（注）シャープペンシルは不可

## 14 入学試験にかかる情報開示

平成15年度入学試験にかかる情報を、次のとおり開示します。

### （1）採点・評価及び合否判定に関して

小論文、実技検査及び面接の一般的な採点・評価のポイント

面接・口述試験の形式（個別かグループか。）

実技検査及び面接等で特に重視するものがある場合はその旨

以上の内容を本学生募集要項（5～9ページ参照）に掲載しています。

### （2）個人成績等に関して

不合格となった受験生本人に対し、請求に応じて次のとおり成績等を開示します。

成績を点数で表している場合は、不合格者の成績（総合点）を3段階に区分し、該当ランクを開示します。

成績を評価（A、B、C等）で表している場合は、当該段階別評価を開示します。

開示期間は、平成15年5月1日～6月30日（土・日曜日及び祝休日を除く午前9時～午後4時まで。）に限り、本学入試担当窓口で閲覧開示します。（当日は、本学の受験票等、本人であることを確認できるものを持参してください。）

**なお、開示請求にあたっては、必ず、事前に電話で問い合わせ（巻末ページ参照）願います。**

## 15 平成16年度入学者選抜の変更について(予告)

医学専門学群 医学類の私費外国人留学生特別選抜においては、日本留学試験の指定科目及び第2次選抜の選考内容を下記のとおり変更し、実施します。

### <変更前>

医学専門学群 医学類（私費外国人留学生特別選抜）

日本留学試験について

学 群 ・ 学 類	文系・理系の別	日 本 語	総 合 科 目	数 学	理 科	出 題 言 語
医学専門学群 医学類	理科系			2	物理・化学	日本語

第2次選抜

学群・学類別選考内容

医学専門学群 医学類

科 目	試 験 時 間	内 容
小 論 文	120分	<u>物理・化学・数学・英語（読解力・作文力）の総合的学力を測定するとともに論理的思考力、表現力を日本語又は英語の作文により評価します。</u>
面 接		個別面接（受験の動機，就学の継続力，適性，感性，適応力及び日本語での学習能力について評価します。）
日本留学試験及び小論文による学力検査の総合点と面接で評価します。		



### <変更後>

医学専門学群 医学類（私費外国人留学生特別選抜）

日本留学試験について

学 群 ・ 学 類	文系・理系の別	日 本 語	総 合 科 目	数 学	理 科	出 題 言 語
医学専門学群 医学類	理科系			2	自由選択	日本語

第2次選抜

学群・学類別選考内容

医学専門学群 医学類

科 目	試 験 時 間	内 容
小 論 文	120分	<u>医学を学んでいく上で必要な総合的学力を測定するために、与えられた課題について日本語により論述します。</u>
面 接		個別面接（受験の動機，就学の継続力，適性，感性，適応力及び日本語での学習能力について評価します。）
日本留学試験及び小論文による学力検査の総合点と面接で評価します。		

（以下 略）

#### 平成 14 年 10 月設置の学群・学類等の入学者選抜方法について

本学では、平成 14 年 10 月に医学専門学群医学類（従来の医学専門学群）、看護・医療科学類（看護学主専攻及び医療科学主専攻）及び図書館情報専門学群を設置します。本要項には、これらの学群・学類等を含めて掲載しています。